

増刊

実験医学増刊2022年Vol. 40 No. 7

栄養・代謝物シグナルと食品機能

(仮題)

編集／亀井 康富 (京都府立大学 生命環境科学研究科)

関連キーワード・技術

◆ 代謝物シグナル ◆ 栄養環境 ◆ アミノ酸 ◆ 機能性 ◆ メタボローム

摂取された食品は代謝され、私たちの身体を形づくるとともに、さまざまな生体調節機構に寄与する。この一連の反応・流れは栄養と呼ばれる。近年、栄養・代謝物シグナルと食品機能についてミクロからマクロまで、高い解像度で明らかにされてきた。本増刊号では、食品とその代謝物による遺伝子発現制御、臓器連関、身体の内環境への適応、斬新なアイデアに基づく解析方法など、栄養・代謝シグナルの最前線について紹介し、議論の端緒としたい。(企画者より)

本書へのご出稿のポイント

- 栄養・食品研究は幅広い読者が期待するテーマ

医学、農学、企業研究者、管理栄養士など、多くの読者の購読が見込まれます。

- 関連学会で宣伝いたします！

日本農芸化学会 (3/15～)、内科学会 (4/15～)、糖尿病学会 (5/12～) など (予定)

広告料金・掲載概要

ページ広告

掲載面	刷色	スペース	掲載料金
表紙4	4色	1P	330,000
表紙3	4色	1P	220,000
	1色	1P	165,000
表紙2	4色	1P	275,000
	1色	1P	187,000
中付 [※] (記事中)	4色	1P	165,000
	1色	1P	121,000
後付	4色	1P	165,000
	4色(ブリード)	1P	181,500
	1色	1P	99,000
	1色	1/2P	60,500
差込		1枚	220,000
タイアップ広告 (記事広告)	4色	2P	掲載費 330,000 編集費 88,000

※写真修正・図案・版下・製版等は実費をいただきます
 ※ご掲載の頁をご指定される場合は、一割増の料金を申し受けます
 ※ご掲載の頁をご指定される場合、各箇所につき1頁まで(先着1社)
 ※表示価格は10%税込の価格です

発行概要

- **発行部数** 6,000部
- **発行日** 2022年 4月 20日 (水) 発行予定
- **発行形態** B5判, オフセット印刷
- **広告締切** 申込締切: 2022年 3月 4日 (金)
原稿締切: 2022年 3月 11日 (金)
※日程を延期する可能性がございます
※事前に掲載内容を確認させていただく場合がございます
- **広告仕様** 1頁……………天地220mm × 左右150mm
1頁ブリード版……………天地257mm × 左右182mm
表紙4……………天地192mm × 左右150mm
表紙4ブリード版……………天地202mm × 左右160mm
1/2頁……………天地105mm × 左右150mm
- **記事広告** ①**貴社にて完成原稿をご用意いただく場合**
広告上部(右上など)に『PR記事』の旨をご明記ください。左記編集費(2P 88,000円)は発生いたしません。
②**弊社で製作する場合**
貴社でご用意いただく原稿をもとに製作します(掲載費+編集費を申し受けます)。詳細はお問い合わせください。

原稿製作に際して

- Adobe社の製作ソフト(Illustrator等, ver.2021まで対応可)にてご製作のうえ, EPSもしくはPDFにてご納品ください。また, 使用したOS・ソフトのバージョンをお知らせください
- テキストは完全アウトライン化し, カラー形式はCMYKにご設定ください(モノクロの場合はk版のみで制作, もしくはグレースケール化)
- 写真や図版は元ファイル(リンクファイル)を同送もしくは埋込処理ください
- ブリード版(裁ち落とし)は広告4辺に塗り足し+3mmをご用意ください
- トンボ等を用いて仕上がりサイズをご指示ください
- “オーバープリント設定”にご注意ください(設定次第でテキストやオブジェクトに意図せぬ色の変化や消失が起こる可能性があります)
- 原稿修正をご要望の際, 費用が発生する場合がございます

【発行元】

株式会社 羊土社

〒101-0052
東京都千代田区神田小川町2-5-1
TEL:03-5282-1211 FAX:03-5282-1212
URL: www.yodoshia.co.jp/

【広告総代理店】

株式会社 エー・イー企画

〒101-0003
東京都千代田区一ツ橋2-4-4 一ツ橋別館4F
TEL:03-3230-2744 FAX:03-3230-2479
E-mail: adinfo@aeplan.co.jp

広告掲載申込書

年 月 日

下記の通り、「実験医学増刊2022年 (Vol. 40 No. 7) 栄養・代謝物シグナルと食品機能」に広告掲載致します。

貴社名: _____ TEL: _____ FAX: _____

所在地: 〒 _____

担当者名: _____ 所属: _____ E-mail: _____

掲載場所: _____ 頁/枚 _____ 掲載料金: _____

支払方法: _____ 支払日: _____



【テーマと執筆予定者（敬称略）】

※ 以下章立ては予告なく変更される可能性があります。最新情報はお問い合わせください。

序文	亀井 康富（京都府立大学 生命環境科学研究科）
概論	亀井 康富（京都府立大学 生命環境科学研究科）

第1章 食品の機能性と栄養・代謝物シグナル

1. アミノ酸の機能性 畑澤 幸乃（味の素株式会社食品研究所）
2. 脳内活性型ビタミンKの認知機能増強作用 白川 仁（東北大学農学研究科）
3. 抗老化因子を制御するミネラル栄養学 瀬川 博子（徳島大学大学院医歯薬学研究部）
4. 生体に作用する食由来の分子群（食機能実行分子）とその機能的相互作用
立花 宏文（九州大学農学研究院）
5. 脂質代謝物シグナルと食品の機能性
後藤 剛（京都大学大学院食品分子機能学分野）
6. ビタミンA誘導体による遺伝子発現調節
大石 由美子（日本医科大学大学生化学・分子生物学）
7. 食品成分と薬物の相互作用 玉井 郁巳（金沢大学医薬保健研究域）

第2章 栄養・代謝物シグナルの輸送と臓器連関

1. ヒトiPS細胞由来腸上皮オルガノイドを活用した新たな食品・栄養科学研究
高橋 裕（東京大学大学院農学生命科学研究科）
2. 食品によるエクソソームを介した腸脳相関活性化 片倉 喜範（九州大学農学研究院）
3. 分泌型NAD合成系酵素eNAMPTとニコチンアミド・モノヌクレチオド
吉岡 潔志，今井 眞一郎（神戸医療産業都市推進機構）
4. 腸管でのフルクトース代謝と肝臓での脂肪酸合成 和田 正吾（ペンシルベニア大学医学部）
5. 栄養シグナルによる胃腸膵ホルモン分泌の末梢・中枢神経系を介した摂食代謝調節
岩崎 有作（京都府立大学大学院生命環境科学研究科）

第3章 栄養・代謝物シグナルの感知と環境適応

1. 栄養環境の変化を認識する短鎖脂肪酸受容体を介した神経・免疫・代謝制御
木村 郁夫（京都大学生命科学研究科）
2. 運動と細胞膜脂質リモデリング 三浦 進司（静岡県立大学食品栄養科学部）
3. 転写因子FOXO1による異化時の環境適応 亀井 康富（京都府立大学生命環境科学研究科）
4. 栄養環境の変化に対する適応戦略と成長・代謝制御機構
西村 隆史（群馬大学生体調節研究所）
5. グルコース飢餓への適応におけるTORC2経路の役割
豊田 雄介（久留米大学分子生命科学研究科）
6. 嗅覚受容体の活性化が糖代謝に与える影響 宗像 佑一郎（東北大学病院糖尿病代謝科）

第4章 栄養・代謝物シグナル修飾とエピジェネティクス

1. 栄養環境に応じた表現型形成におけるフラビン依存性エピゲノム
日野 信次朗 (熊本大学発生医学研究所)
2. RNAメチル化を介した栄養情報
深水 昭吉 (筑波大学生存ダイナミクス研究センター)
3. 肥満発症における視床下部のエピゲノム・エピトランスクリプトームの役割
河野 大輔, 畑田 出穂 (群馬大学生体調節研究所)
4. 細胞内生命金属動態を制御するタンパク質メタレーション
神戸 大朋 (京都大学生命科学研究科)
5. 栄養・代謝物シグナルとエピジェネティクス
小川 佳宏 (九州大学大学院医学研究院)

第5章 栄養・代謝物シグナルの破綻と疾患

1. 糖尿病病態において分岐鎖アミノ酸の摂取が高グルカゴン血症を惹起する機序
和田 恵梨, 北村 忠弘 (群馬大学生体調節研究所)
2. 褐色脂肪細胞の分岐鎖アミノ酸代謝異常と肥満症
米代 武司 (東京大学先端科学技術研究センター)
3. ミトコンドリア機能と品質管理機構から捉える重症病態
宮崎 裕美 (防衛医科大学校防衛医学研究センター)
4. 栄養・代謝物シグナルと慢性炎症性疾患
伊藤 パディジャ 綾香, 菅波 孝祥 (名古屋大学環境医学研究所)

第6章 栄養・代謝物シグナル研究の新たな手法と応用

1. 大規模遺伝子解析データの活用による食品成分の効果の個人差に関する包括的検討およびPrecision Nutritionと栄養プロファイリング評価
加藤 久典 (東京大学総括プロジェクト機構)
2. 食品メタボローム：質量分析データを活用した包括的食品健康機能評価系
荒 武 (京都大学生存圏研究所)
3. ゲノム編集技術を応用した機能性食品の作出
江面 浩 (筑波大学生命環境系)